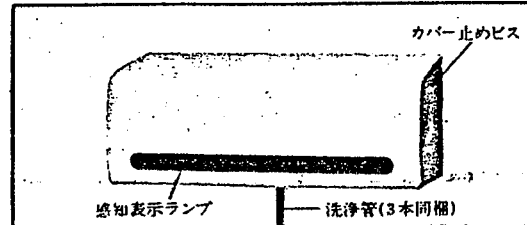


USシステムA型(TEA80) 取付説明書

製品の機能が十分発揮できるようにこの取付説明書の内容によって正しく取付けてください。

この製品は使用者が小便器から離れると自動的に洗浄する装置です。

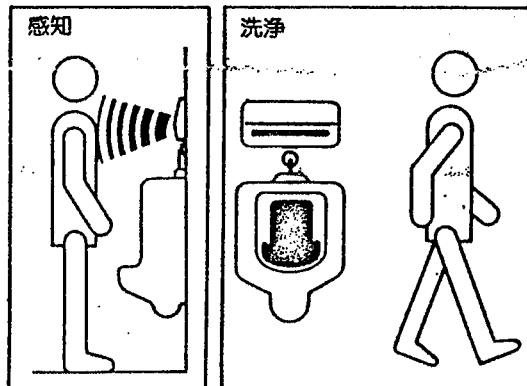
仕様



外寸	320(巾)×135(縦)×145(奥行)
電源電圧	AC100V 50-60Hz
消費電力	常時5W、バルブ作動時95W(約1秒間)
感知距離	カバー前面より500mm以内
感知時間	5秒間以上(5秒間以下では作動しない)
周囲温度範囲	0~40℃
給水部接続	15A ガスネジ
給水圧力	最低必要水圧0.7kg/cm ² 、最高水圧7.0kg/cm ²
吐水量	4ℓ/回~6ℓ/回に調節可能

作動のしくみ

小便器の前に立ちこの状態が5秒間以上続くと小便器から離れたときに、自動洗浄します。



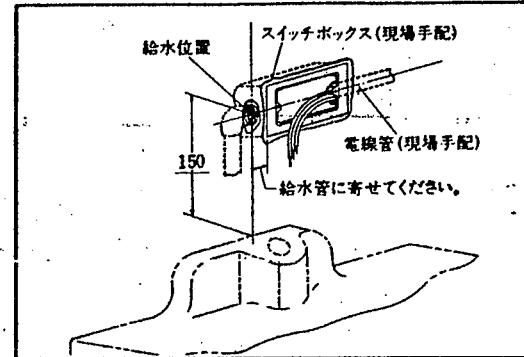
取付け前に

- 水道工事と電気工事は十分工程を打合せの上、行ってください。
- 万一の際の危険防止のため必ず過電流しゃ断器、漏電しゃ断器を設置してください。
- アース端子付きですので必ず第3種接地工事を行ってください。
- 電源線・アース線は現場でご用意ください。
使用電線：2mm²又は1.6mmφ以上の600V絶縁電線又はケーブル

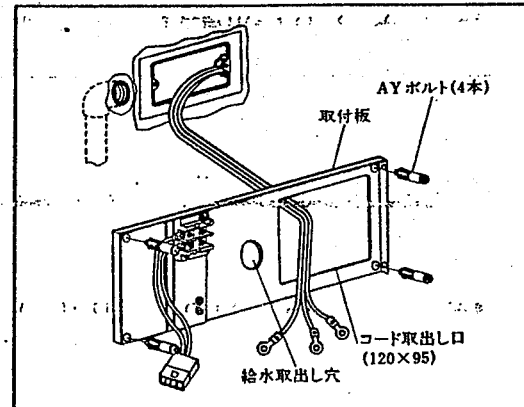
取付けと配線

1. 埋込配線の場合

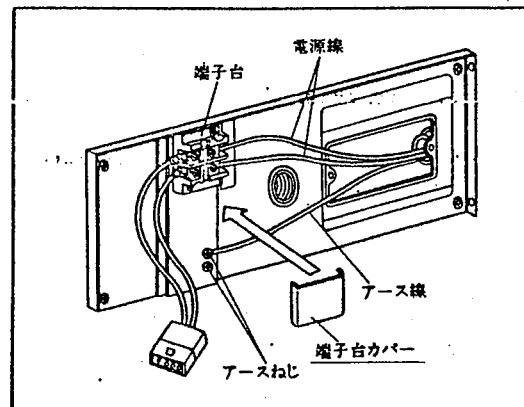
- ①スイッチボックス(別途)を前もって埋込んでおきます。このとき壁仕上げ面よりとび出ないように注意してください。



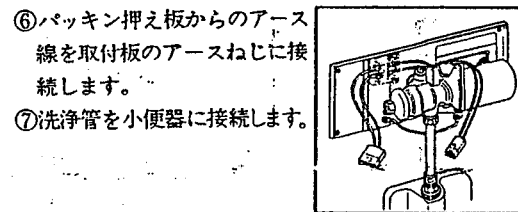
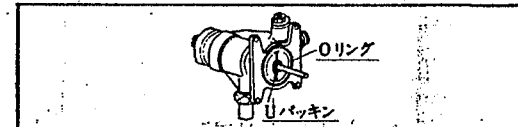
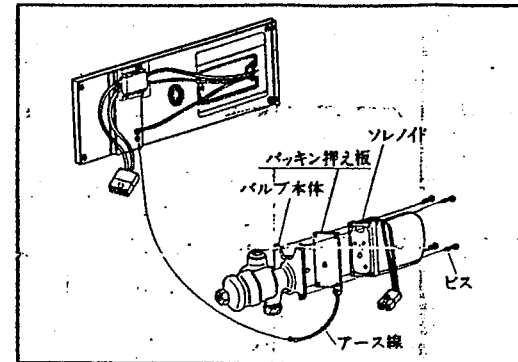
- ②取付板を壁にAYホルドで固定します。AYホルドの下穴は11φドリルをご使用ください。注：取付板は水平に取付けてください。



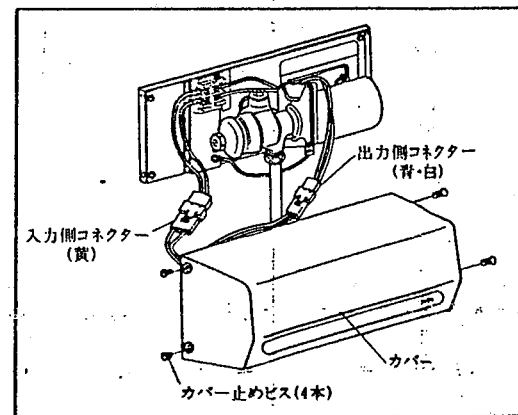
- ③スイッチボックスから電源線、アース線を取り出し電源線は端子台に、アース線はアースねじに接続してください。接続後は必ず端子台カバーをはめこんでください。



- ④給水管内のゴミ・砂などを完全に洗い流した後、バルブ本体を給水管に確実にねじ込みます。
- ⑤本体を給水管にねじ込んだ後、ソレノイドをビス(4本)で固定します。このときバルブ側にはOリング、Uパッキンが入っていることを確認してから中間にパッキン押え板を入れてください。

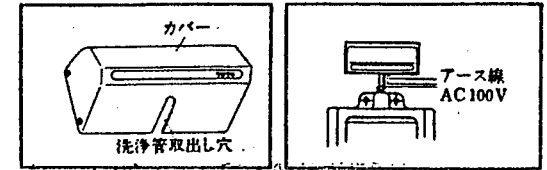


- ⑥パッキン押え板からのアース線を取付板のアースねじに接続します。
- ⑦洗浄管を小便器に接続します。



2. 露出配線の場合

既設取付等で配線を露出させる場合はカバー下面の洗浄管取出し穴より配線を引き込んでください。配線には、ケーブルを使用してください。器具の取付けは埋込配線の場合をご参照ください。

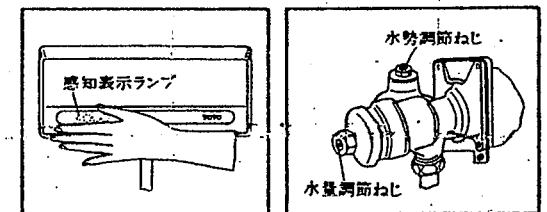


取付け完了後の確認

配線に間違いがないことを確認後、通水・通電し、通常の使用状態で作動するかどうか確認してください。

洗浄水量・水勢の調節

1. 感知部の前を図のように手で覆い5秒間以上経過後手をはなしてブラッシュバルブを作動させ、最適な水量で5-6秒洗浄するよう次の調節をしてください。(感知したとき表示ランプが点灯します。)

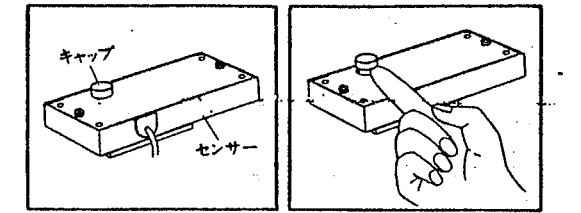


- 水勢の調節
水勢調節ねじを水勢が強いときは右に、弱いときは左に回してください。
- 水量の調節
水量調節ねじを水量が多いときは右に、少ないときは左に回してください。

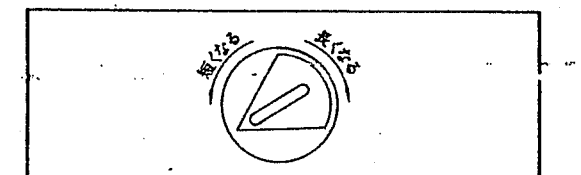
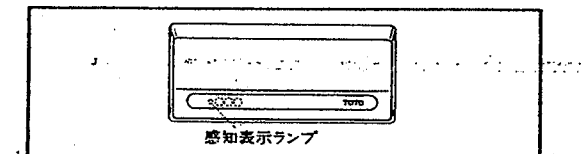
感知距離の調節

感知距離は工場て調整出荷しておりますので通常の調節は不要ですが、万一通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁等を感知してしまうときは、次の要領で調節してください。

- ①カバー裏面にあるセンサーのゴムキャップを外します。



- ②ドライバーで感知距離調節用ボリュームを回します。
 - ①感知しない場合(感知表示ランプが点灯しない)
 - 感知距離調節用ボリュームを右に回す。
 - ②感知しすぎなしの場合(感知表示ランプが消灯しない)
 - 感知距離調節用ボリュームを左に回す。



- 注：感知距離調節用ボリュームは少しずつ回して調節してください。
- ：感知距離調節用ボリュームに無理な力を加えないようご注意ください。
 - ：感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因になりますので必要最小限度としてください。